

Ver, 15.0~18.0



PIAZZETTA パラメーター表 P158用

【販売代理店専用】ユーザー様にはお渡ししないください



目次

1	◆目次	16	◆クイック機能 ※代理店のみ使用可能
2	◆操作方法		・クイック機能／クイックスタート（着火フェーズの簡略化）
	・ファームウェアとサービスコードの確認方法		・クイック機能／テクニカルバイパス（シャットダウンの簡略化）
3	・メニュー画面一覧	17	◆パラメーター設定 ※代理店のみ使用可能
4	・オーガにペレットを絡ませる		・【INSTALLER】パラメーター設定一覧
	・着火フェーズのサイクル	18	・【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】パラメーターのロック機能
5～6	・着火フェーズ／コントロールフェーズのしくみ		・【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】パラメーターの一括設定
	・着火フェーズ／スタートフェーズⅠのしくみ	19	・【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】コールドテスト
7	・着火フェーズ／スタートフェーズⅡのしくみ		・【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】排煙温度センサーの調整
8	・着火フェーズ中にストーブが停止した場合の再スタート	20	・【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】室温センサーの調整
	・通常運転／出力の設定		・【TECH MENU<DATA BANK】データベースの初期化
9	・通常運転／室温の設定		・【TECH MENU<RESET PART HOUR】運転時間のリセット
	・運転中の排煙ファンの動き	21	・【TECH MENU<RESET PART HOUR】
	・運転中の送風ファンの動き		メンテナンスインターバル（SERVICE）のリセット
10	・シャットダウンのサイクル		・【TECH MENU<RESET ALARM】エラー履歴のリセット
	・停電時のシャットダウン		・【TECH MENU<ENCODER】エンコーダーの設定
11	・安全装置／ストーブの自動制御	22	・【TECH MENU<LOAD SETTINGS】オーガの設定
	・自動クリーニング機能		・【TECH MENU<SETTINGS SMOKE FAN】
	・キーロック（チャイルドロック）機能		排煙ファンの簡易設定（差圧計を使用しない設定）
	・【LANGUAGE】言語の設定	23	・【TECH MENU<SETTINGS SMOKE FAN】
12	・【CLOCK】時刻の設定		差圧計を使用した排煙ファンの設定
	・【ENERGY SAVING】エナジーセービングの設定	24	・【MEMORY COUNTER】メモリーカウンター
13	・【CHIRONO】タイマー設定	25	・【DISPLAY】ディスプレイの設定
	・【FILL AUGER】スクリュウのペレット送り込み	26	・電圧・周波数の変換
14	・【NATURAL MODE】ナチュラルモードの設定	27	・パラメーター一覧
15	・【STOVE STATUS】ストーブの状態確認		
	・エラーメッセージ一覧		

ファームウェアとサービスコードの確認方法

ストーブのサービスや各種設定・変更を行う際は、そのストーブの機種とファームウェアのバージョンを確認する必要があります。パラメーター表を正しく使うためにも、バージョンの確認が重要となります。

◆ファームウェアの確認

⊖  と  ⊕ を同時に5秒間長押ししてください。



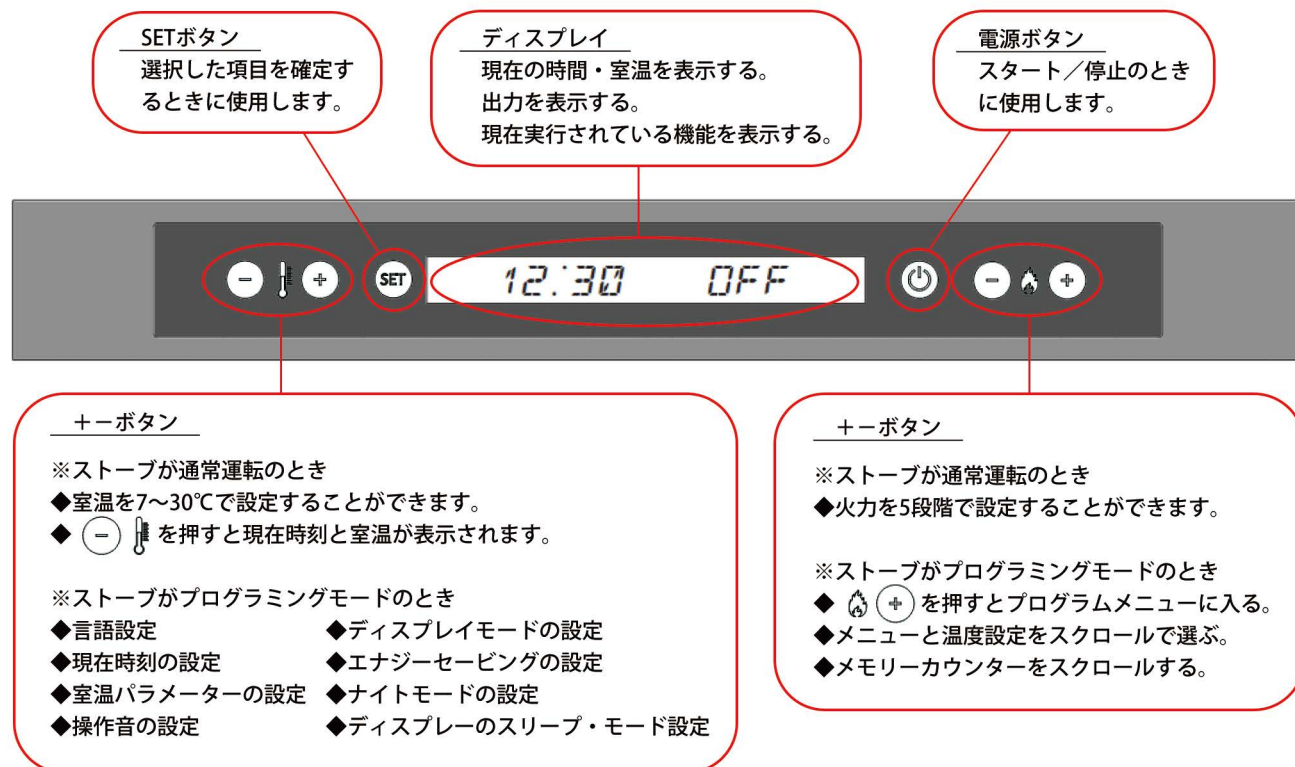
◆サービスコードの確認

⊖  と ⊖  を同時に5秒間長押ししてください。



パネルの操作

全ての機能の設定はパネル状のデジタルディスプレイを使って操作できます。パネルは機器の電源（コンセント）を接続している時のみ操作することができます。



◆プログラムメニューに入るときは  ⊕ を押してください。

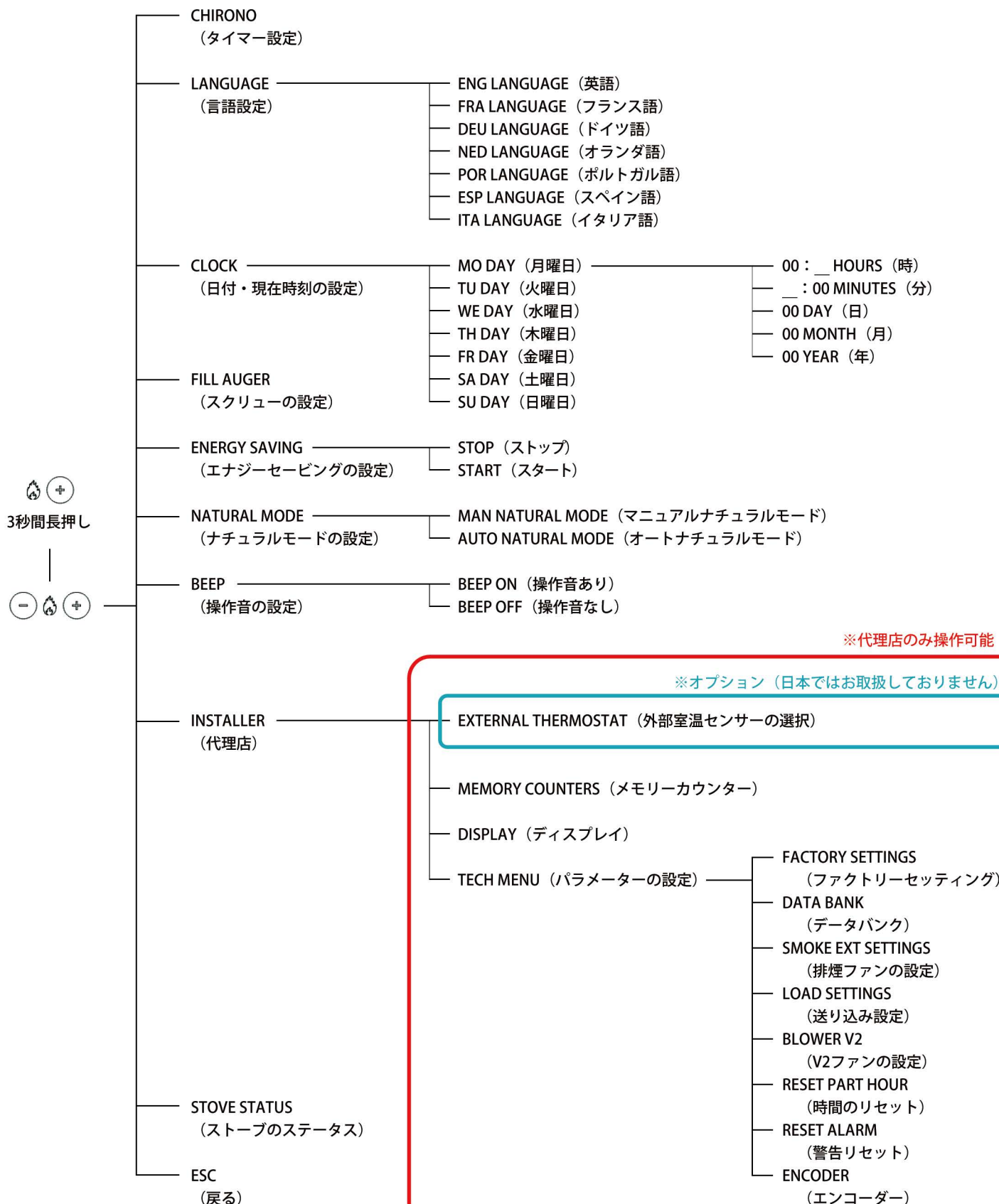
◆メニュー、室温設定、メモリーカウンターは ⊖  ⊕ を押すとスクロールできます。

◆目的のメニューが表示されたら SET を押して確定してください。

◆言語選択、現在時刻の設定、室温パラメーターの設定、操作音の設定、ディスプレイモード設定、エナジーセービング設定、ディスプレイスリープモード設定は ⊖  ⊕ を使用してください

メニュー画面一覧

全ての機能の設定は当機器天板にあるパネルをで操作します。パネルは機器の電源（コンセント）を接続している時のみ操作することができます。



オーガにペレットを絡ませる

オーガ（スクリュー）にペレットを絡ませます。

- ①   を押してメニューに入り、   ボタンで「FILL AUGER」を選択して  で確定します。
- ② ディスプレイに「IN LOAD」と表示され、オーガが作動しタンク内のペレットを一定時間送り込みます。
- ③ 送り込みが終了すると、ディスプレイに「AUGER LOADED」と表示されます。
- ④ ディスプレイに「EMPTY BRAZIER」と表示されたら、グレート（燃烧皿）の中にたまったペレットを取り除きます。
- ⑤ グレートを掃除し、 ボタンを押すと、ストーブを運転できるようになります。

※この機能は、ストーブを運転していないときのみ作動します。ストーブを運転中は「NO LOAD」と表示され、作動しません。

※ペレットが絡んでいない状態で運転を開始すると、着火までに時間がかかりすぎるため着火不良でエラーとなることがあります。シーズン開始時などペレットタンクが空の状態からストーブを運転する場合は、予めこの機能を使用しペレットをオーガに絡ませてください。

着火フェーズのサイクル

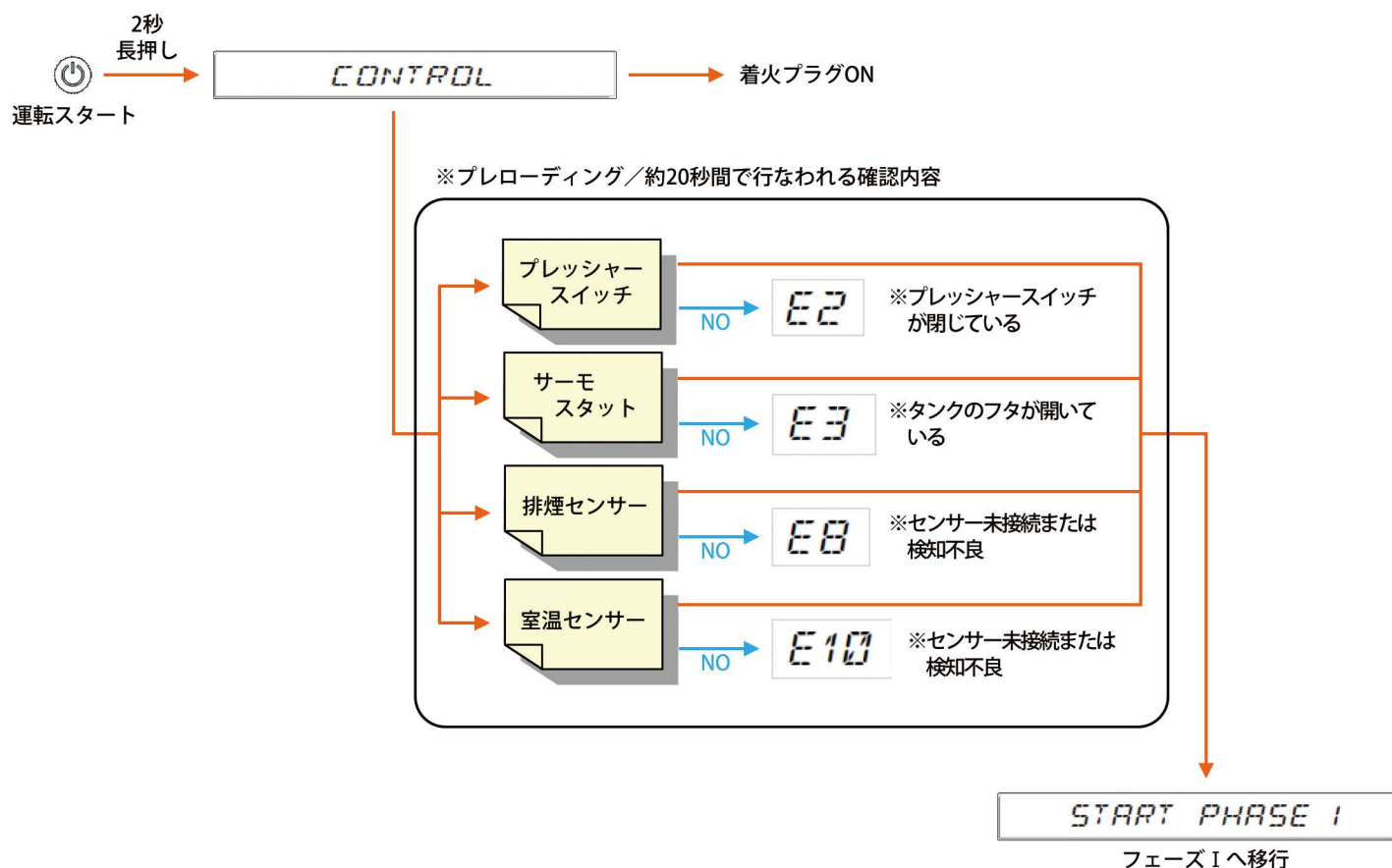
着火フェーズは以下のサイクルで運転します。

-  ボタンを2秒押し、運転を開始します —
- 排煙温度が13P - 3℃以下の場合、CONTROLにすすみます。
※条件を満たしていない場合はWAIT COOLING が表示されます。
- ① CONTROL / コントロールフェーズ（センサー類の接続確認）
- ② FPHASE I / フェーズ I（着火）
 - ②-1 PRE-LOADING / プレローディング（タンク内のペレットをオーガに絡ませる）
 - ・オーガ（スクリュー）は12秒サイクルで作動しており、32Pで設定された時間ペレットが送り込まれ、同時に排煙モーターは34Pで設定された値で作動します。送り込みが完了すると着火プラグが熱くなり始め、12分以内に着火が確認されないとディスプレイに「E9 NO LIT」が表示され、着火不良としてエラー停止します。
 - ②-2 WAIT / ウェイト
 - ・プレローディングが終わると、33Pで設定された時間オーガが止まります。排煙温度を3分間測定・記憶し、排煙モーターが34Pで設定された値で作動します。
 - ②-3 PHASE I / フェーズ I
 - ・04Pで設定された時間オーガがペレットの送り込みを開始します。その後炎が立ち上がり、排煙温度が「Waitで測定された温度+8℃」に達すると、着火したと判断されフェーズⅡに移行します。排煙モーターが16Pで設定した値で作動します。
 - ※排煙温度が01Pで設定された時間内に「設定された温度+8℃」に達しない場合、ディスプレイに「E9 NO LIT」が表示され、5秒間隔でエラー音が鳴ります。本体を冷やすため排煙ファンが8分作動した後、着火不良としてエラー停止します。
- ③ FPHASE II / フェーズⅡ（炎の安定化）
 - フェーズⅡは、フェーズⅠで着火した炎や排煙温度を安定させるための時間です。02P・05P・17Pの設定によりコントロールされます。35Pで設定した時間内のうち、30分経過後に排煙温度が「13Pで設定した温度+5℃以上」に達すると、着火フェーズ成功と判断され通常運転に移行します。
 - ※「13P+5℃」以下の場合は、着火不良としてエラー停止し、ディスプレイに「E14 NO LIT」が表示されます。
- 通常燃焼 —

着火フェーズ／コントロールフェーズのしくみ

⏻ ボタンを2秒ほど長押しして運転を開始すると、着火プラグ（着火棒）がONになりコントロールフェーズを開始します。約60秒間でセンサー類が正しく接続されているか確認し、問題なければそのままフェーズⅠへ移行し、ペレットの送り込みがスタートします。

※コントロールフェーズ中に再度 ⏻ ボタンを押すと、ストーブは運転を中止します。



着火フェーズ／スタートフェーズⅠのしくみ

スタートフェーズⅠは、01Pで設定された時間内で行なわれます。

① 第一段階 PRE-LOADING／プレローディング

・オーガ（スクリュー）は12秒サイクルで作動しており、32Pで設定したプレローディングの時間内でペレットが送り込みを開始し、同時に排煙モーターが34Pで設定されたスピードで作動します。

※プレローディング中に「ON/OFF」ボタンを押すと、ストーブはOFF状態となりディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示され、排煙ファンが停止します。炉内を掃除し ⏻ ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

② 第二段階 WAIT／ウェイト

・プレローディングが終わると、33Pで設定された時間オーガが待機状態で止まります。排煙温度を3分間測定・記憶し、排煙モーターが34Pで設定された値で作動します。

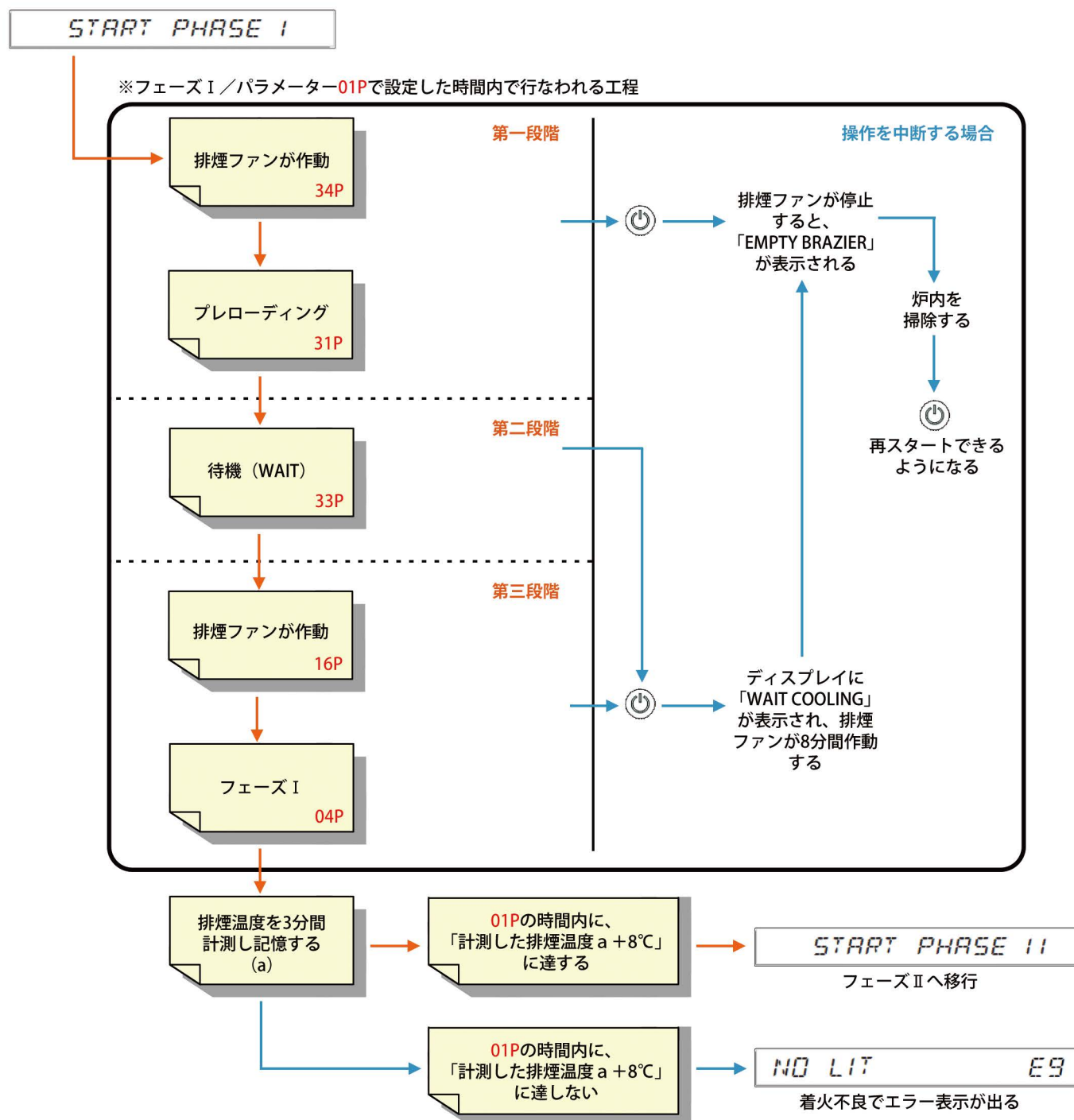
※ウェイト中にON/OFFボタンを押してしまうなどで中断された場合、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され排煙ファンが8分間作動します。排煙ファンが停止するとディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。炉内を掃除し ⏻ ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

③ 第三段階 PHASE I / フェーズ I

- ・04Pで設定された内容で再度オーガがペレットの送り込みを開始し、同時に排煙ファンが16Pで設定されたスピードで作動します。

その後炎が立ち上がり、排煙温度が「②WAITで測定された温度+8℃」に達すると、着火したと判断されフェーズⅡに移行します。

※01Pで設定したフェーズⅠの時間内に排煙温度が+8℃に達しなかった場合、ディスプレイに「E9 NO LIT」が表示され、着火不良でエラー停止します。



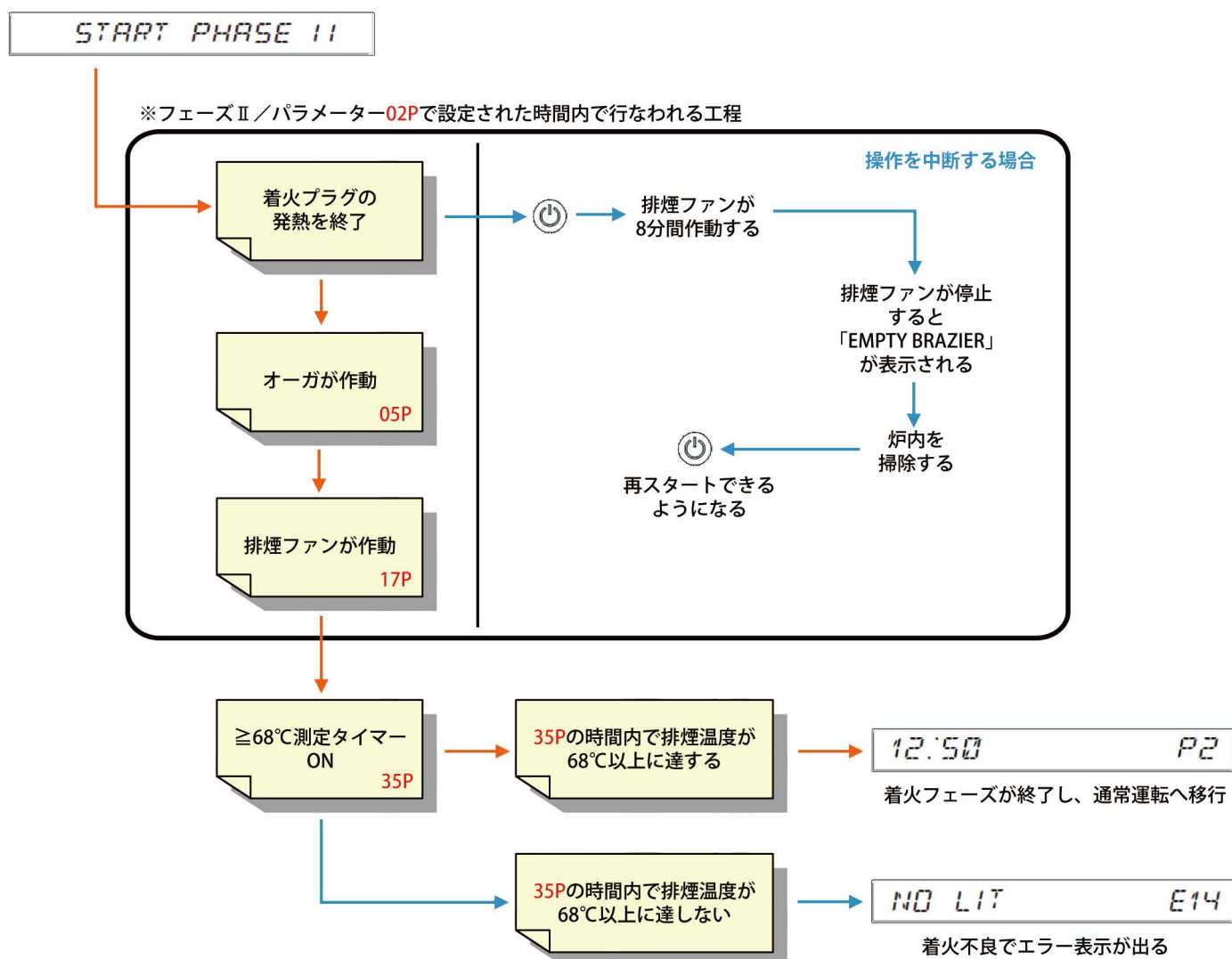
着火フェーズ／スタートフェーズⅡのしくみ

スタートフェーズⅡは、**02P**で設定された時間内で行なわれます。

フェーズⅡは、フェーズⅠで着火した炎や排煙温度を安定させるための時間です。着火プラグの発熱を終了し、オーガは**05P**・排煙ファンは**17P**で設定された内容で作動します。

※このフェーズ中にON/OFFボタンを押してしまうなどで中断された場合、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され排煙ファンが8分間作動します。排煙ファンが停止すると、ディスプレイに「EMPTY BRAZIER」が表示され、炉内を掃除し  ボタンを押すとストーブを再スタートできるようになります。

通常運転に移行後、**35P**で設定した内容で排煙温度68℃以上を計測するタイマーが作動します。時間内に68℃以上に達すると、スタートフェーズが成功と判断されユーザーが設定した出力設定に移行します。時間内に達しなかった場合は着火不良としてエラー停止し、ディスプレイに「NO LIT E14」が表示されます。



着火フェーズ中にストーブが停止した場合の再スタート

以下の手順に従ってストーブを再スタートしてください。

◆コントロールフェーズ

コントロールフェーズ中に  ボタンを押すと、ストーブは運転を中止します。そのまま再スタートが可能です。

◆スタートフェーズⅠ／プレローディング

プレローディング中に  ボタンを押すと、ストーブが停止しディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示され、排煙ファンが停止します。炉内を掃除し  ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

◆スタートフェーズⅠ／ウエイト～フェーズⅠ

ウエイト～フェーズⅠ中に  ボタンを押したりエラーなどで中断された場合、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され排煙ファンが8分間作動します。排煙ファンが停止するとディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。炉内を掃除し  ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

※フェーズⅠで「E9 NO LIT」のエラーになると、本体を冷やすための排煙ファンは8分間作動します。

◆スタートフェーズⅡ

フェーズⅡ中に  ボタンを押したりエラーなどで中断された場合、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され排煙ファンが8分間作動します。排煙ファンが停止するとディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。炉内を掃除し  ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

「WAIT COOLING」を短縮する方法

ストーブを停止すると、ディスプレイ「WAIT COOLING」と表示され本体を冷やすために排煙ファンが8分間作動しますが、「13Pで設定されている温度-3℃以下」になれば、8分間を待たず「WAIT COOLING」終了し、ストーブの再スタートを行うことが可能です。

- ① ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示された状態で  ボタンを押します。
- ② 排煙ファンの温度が「13Pで設定されている温度-3℃以下」になっていると、排煙ファンが停止しディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。
- ③  ボタンを押すと、ストーブが再スタートできるようになります。

※排煙ファンの温度が「13Pで設定されている温度-3℃以下」になっていない場合、排煙ファンは止まりません。

通常運転／出力の設定

スタートフェーズⅡが終了し通常運転に入ると、予めユーザーが設定した出力で運転を始めます。出力を変更する際は、   ボタンを押してP1～P5の5段階で調整できます。

通常運転中にユーザーが出力を変更する際、P3→P5など出力の段階を飛ばして設定する場合は、送風・排煙の各ファンへ負荷軽減のため、パネル表示を後追いの形で1段階ずつ各20秒かけてファンが速度を変更していきます。

※ファンは段階的に作動しますが、リモコンの画面上では設定した出力レベルの画面のみ表示されます。

例) P5からP2へ出力を変更した場合

パネルの表示 : P5 → P2

ファンの動き : P5 —(20秒)—→ P4 —(20秒)—→ P3 —(20秒)—→ P2

通常運転／室温の設定

通常運転中に室温を変更する際は、   ボタンを押して7～30℃で調整できます。  ボタンを押すと現在時刻と室温が表示されます。

運転中の排煙ファンの動き

排煙ファンは以下のとおりに作動します。

◆着火フェーズ／CONTROL

排煙ファンのセンサーが正常に接続されているか確認します。この間排煙ファンは作動しません。

※コントロール中に  ボタンを押すと、機器は直ちに終了します。

◆着火フェーズ／PHASE I – PRE-ROADING

34Pで設定された値で排煙ファンが作動開始します。

※この段階で  ボタンを押すと、排煙ファンは停止し、ディスプレイに「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。

◆着火フェーズ／PHASE I – WAIT

34Pで設定された値で排煙ファンが作動します。

※この段階で  ボタンを押すと、排煙ファンは8分間作動し、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され本体を冷やします。

排煙ファンが止まると「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。

◆着火フェーズ／PHASE I – PHASE I

16Pで設定された値で排煙ファンが作動します。

※この段階で  ボタンを押すと、排煙ファンは8分間作動し、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され本体を冷やします。

排煙ファンが止まると「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。

◆着火フェーズ／PHASE II

17Pで設定された値で排煙ファンが作動します。

※この段階で  ボタンを押すと、排煙ファンは8分間作動し、ディスプレイに「WAIT COOLING」が表示され本体を冷やします。

排煙ファンが止まると「EMPTY BRAZIER AND PRESS ON/OFF」が表示されます。

◆通常運転

通常運転に入ると、排煙ファンはそれぞれの出力に応じたパラメーターの値で作動します。

P1=18P P2=19P P3=20P P4=21P P5=22P

◆炉内のクリーニング

通常運転中、ディスプレイに「CLEANING GRATE」と表示され、12Pで設定された間隔で排煙ファンが最大速度で作動しグレートの灰を掃除します。

◆シャットダウン

シャットダウン中、「WAIT COOLING」の8分間経過後、排煙温度が「13P-3℃」「15P-6℃」以下となった場合、排煙ファンが止まります。

※「WAIT COOLING」表示中に  ボタンを押した場合でも、「13P-3℃」「15P-6℃」の条件どちらも満たされていなければストーブを再スタートすることはできません。

運転中の送風ファンの動き

送風ファンは、通常運転に入り排煙温度が15Pに達すると作動します。15P-6℃になると止まります。

※送風ファンの速度は出力に比例します。

シャットダウンのサイクル

シャットダウンは以下のサイクルで8分間運転し、ストーブを停止します。

- 運転中に  ボタンを押します —
- ① オーガーモーターが停止し、ディスプレイに「SHUT DOWN」が表示されます。
- ② 排煙温度が15P-3℃以下になると排煙ファン停止します。
- ③ 排煙温度が13P-6℃以下になると送風ファンが停止します。
- ④ ディスプレイに「OFF」と表示され、ストーブが完全に停止します。

停電時のシャットダウン

停電（電力遮断）によるシャットダウンの対応は、状況により異なります。

◆着火フェーズ中の停電

- ① 電力が回復すると、ディスプレイに「POWER FAILURE」が表示され、ストーブはシャットダウンに入ります。オーガが停止し、排煙ファンが最高速度で最大12分作動します。
- ② 12分が過ぎると機器は停止し、ディスプレイは「EMPTY GRATE AND PRESS ON/OFF」が表示されます。
※12分が経過する前に  ボタンを押すと、ディスプレイは「WAIT COOLING」が表示され、短縮はできません。12分経過後、ボタンを押すと「EMPTY GRATE AND PRESS ON/OFF」が表示されます。
- ③ 炉内を掃除し、 ボタンを押すと、ストーブを再スタートできます。

◆タイマー設定していない場合の停電／30秒以内に電力が復帰した場合

停電前と同じ状態で通常の運転に戻ります。

◆タイマー設定していない場合の停電／30秒以上60秒以内に電力が復帰した場合

ディスプレイに「POWER FAILURE」が表示され、ストーブがシャットダウンします。ディスプレイに「WAIT COOLING」と表示され、12分間排煙ファンが作動しストーブを冷やします。その後、排煙温度が正常であれば自動で着火フェーズに進みます。

◆タイマー設定していない場合の停電／電力の復帰に60秒以上かかった場合

- ① ディスプレイに「POWER FAILURE」が表示され、ストーブがシャットダウンします。ディスプレイに「WAIT COOLING」と表示され、12分間排煙ファンが作動しストーブを冷やします。
- ② 排煙ファンが停止すると、ディスプレイに「EMPTY GRATE AND PRESS ON/OFF」が表示されます。
- ③ 炉内を掃除し、 ボタンを押すと、ストーブを再スタートできます。

◆タイマー設定しているときの停電／運転停止中に停電が起きた場合

タイマー設定はキャンセルとなります。

◆タイマー設定しているときの停電／シャットダウン中に停電が起きた場合

以降のタイマー設定は全てキャンセルになります。それ以外は「タイマー設定していない場合の停電」と同様です。

◆タイマー設定しているときの停電／タイマー設定で運転中に停電が起きた場合

設定されたタイマーはそのまま有効となります。それ以外は「タイマー設定していない場合の停電」と同様です。

安全装置／ストーブの自動制御

機器の安全性を確保するため、以下の条件でストーブは自動的に運転を制御します。

◆排煙温度の異常低下による自動制御

通常運転中に排煙温度が68℃以下になると、排煙温度の異常と判断しストーブはシャットダウンします。ディスプレイに「E7」が表示され、オーガモーターが停止し、排煙温度が15P-3℃以下になると送風ファンが停止、シャットダウンの8分間の間に15P-8℃以下になると送風ファン停止します。

◆排煙温度の異常高温による3段階の自動制御

第1段階 送風ファンの自動制御

排煙温度が31Pを超えると、送風ファンは最大速度で作動し、ストーブは設定された出力のまま運転を継続します。

第2段階 出力の自動制御

排煙温度が14Pを超えると、送風ファンは最大速度で作動し、出力は自動的にP1へ移行します。

第3段階 ストーブの自動停止

排煙温度が28Pを超えると、送風ファンは最大速度で作動し、ストーブは自動的にシャットダウンします。ディスプレイに「E4」と表示されます。

自動クリーニング機能

ストーブは、グレートに溜まった灰を自動でクリーニングします。クリーニング中はディスプレイに「CLEANING GRATE」と表示され、オーガが停止し排煙ファンが最高速度で作動します。クリーニングが終了すると、オーガが作動し機器は元の出力で運転を再開します。

※クリーニングの間隔を03P、一度のクリーニングにかかる時間を12Pで設定します。

※出力がP2の時に限り、12Pで設定された時間よりもクリーニングにかかる時間は通常の40%に短縮されます。

キーロック（チャイルドロック）機能

ストーブは、小さなお子様などの誤操作を防ぐため、パネルが操作できないよう設定することができます。

- ①  ボタンを10秒間長押しすると、キーロックが設定されます。キーロック中にボタンを押すと、「KEY BORD ROCK」と表示され、操作できません。
- ② 解除する場合は、設定時と同じく  ボタンを10秒長押しすると、キーロックが解除されます。

【LANGUAGE】言語の設定

ディスプレイに表示される言語を設定します。

- ①  ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②   ボタンで「LANGUAGE」を選択し  ボタンを押します。
- ③   ボタンで言語を選択し  ボタンを押します。

◆選択できる言語

- ENG LANGUAGE = 英語
- FRA LANGUAGE = フランス語
- DEU LANGUAGE = ドイツ語
- NED LANGUAGE = オランダ語
- POR LANGUAGE = ポルトガル語
- ESP LANGUAGE = スペイン語
- ITA LANGUAGE = イタリア語

【CLOCK】時刻の設定

現在の時刻を設定します。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「CLOCK」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで曜日を選択し  ボタンを押します。
- ④ 時間・分・日・月・年の順に    ボタンで選択し  ボタンを押します。

◆選択できる曜日

MO DAY = 月曜日	TU DAY = 火曜日
WE DAY = 水曜日	TH DAY = 木曜日
FR DAY = 金曜日	SA DAY = 土曜日
SU DAY = 日曜日	

◆選択できるその他項目

00 : _	HOURS	= 時間
_ : 00	MINUTES	= 分
00	DAY	= 日
00	MONTH	= 月
00	YEAR	= 年

【ENERGY SAVING】エナジーセービングの設定

エナジーセービングとは、ユーザーが設定した任意の室温を保つためストーブが自動運転を行ないます。自動的に運転・停止することで過度な室温上昇を防ぎ、燃料の消費を節約する機能です。ユーザーが設定した温度に対し、±3℃の範囲でストーブが稼働する上限・下限の温度を自由に設定することができます。ストーブは、設定された上限・下限の温度を境界として運転・停止を繰り返します。

エナジーセービングのサイクル

- ・ユーザーが予め設定した室温を室温センサーが感知すると、出力は自動的にP1となり運転を継続します。
- ・エナジーセービングの設定時に上限温度（STOP）を「OFF」で選択した場合、設定された室温に達すると、シャットダウンに移行せず出力P1の状態での運転を続けます。
- ・エナジーセービングの設定時に下限温度（START）を「OFF」で選択した場合、出力P1で運転中に設定した上限温度に達するとディスプレイに「ENERGY OK」が表示されシャットダウンモードに入ります。
 ※エナジーセービングの設定時に下限温度（START）を「OFF」で選択した場合、シャットダウンしストーブが停止すると、ストーブは自動で再運転を行わずそのまま停止した状態となります。
- ※エナジーセービングの設定時に下限温度（START）を「-1 ~ -3」のいずれかで選択していた場合、ストーブがシャットダウンしディスプレイに「OFF E」が表示されます。排煙温度が排煙ファンが停止する13P-3℃以下の温度になり、室温が設定した下限温度を下回るとストーブが再運転を行ないます。
- ・エナジーセービングでストーブが運転しているときは、ディスプレイに「ENS P● OK」と表示されます。
 ※●は現在の出力が表示されます。
- ・エナジーセービングはタイマー設定と併用が可能です。その場合は常にタイマーの設定条件が優先されます。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「ENERGY SAVING」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「OFF STOP」が表示されます。
- ③    ボタンでストーブの下限温度を「1 ~ 3℃」の範囲または「OFF」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「OFF START」が表示されます。
- ⑥    ボタンでストーブの上限温度を「-1 ~ -3℃」の範囲または「OFF」を選択し  ボタンを押します。

※エナジーセービングを使用しない場合は、「START」「STOP」共に「OFF」を選択します。

※エナジーセービングとナチュラルモードは併用することができません。エナジーセービングが有効になっているとナチュラルモードは設定することができず、ナチュラルモードが有効になっているとエナジーセービングを設定することができません。

【CHIRONO】タイマー設定

ユーザーが設定した時間に基づき、自動的にストーブが運転・停止する機能です。タイマー設定は6パターンのバリエーションを設定できます。

※混乱を避けるため、一つ一つのパターンの稼動日時が重ならないよう設定することをおすすめします。

※タイマー設定中も、手動操作で出力や室温設定、ナチュラルモードを変更することは可能です。

※タイマーの設定時間が重複した場合は、常に最初に設定したパターンが有効となります。

※タイマー設定は、現在時刻を設定していない場合使用することができません。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「CHRONO」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「PROG 1」を選択し  ボタンを押します。
※PROG 1～6の6パターン設定ができます。
- ③ ディスプレイに「OFF ENABLE PROG 1」と表示されたら    ボタンでタイマー設定を有効にする場合は「ON」、無効にする場合は「OFF」を選択し  ボタンを押します。
- ④ ディスプレイに「00:00 START PROG 1」と表示されたら    ボタンで10分単位で運転開始時間を選択し  ボタンを押します。
※運転を自動スタートさせない場合は「OFF」を選択します。
- ⑤ ディスプレイに「00:00 STOP PROG 1」と表示されたら    ボタンで10分単位で運転終了時間を選択し  ボタンを押します。
※運転を停止させない場合は「OFF」を選択します。
- ⑥ ディスプレイに「25° SET ROOM TEMP PROG 1」と表示されたら    ボタンで希望の室温（7～30℃）を選択し  ボタンを押します。
- ⑦ ディスプレイに「02 SET POWER PROG 1」と表示されたら    ボタンで希望の出力（01～04）を選択し  ボタンを押します。
- ⑧ ディスプレイに「MO ON DAYS PROG 1」と表示されたら、  ボタンで運転する曜日を選択し、  ボタンで有効にする曜日は「ON」、無効にする曜日は「OFF」を選択します。全ての曜日のON・OFFを指定したら  ボタンを押します。
※MO＝月曜日 TU＝火曜日 WE＝水曜日 TH＝木曜日 FR＝金曜日 SA＝土曜日 SU＝日曜日
- ⑨ ディスプレイが「CHRONO」に戻り、設定が完了します。他のパターンを設定する場合は、③で「PROG 2～6」のいずれかを指定し、④～⑨を同様に繰り返します。

【FILL AUGER】スクリュウへのペレット送り込み

ストーブを初めて運転する際やペレットを完全に使い切ってしまった場合など、スクリュウにペレットが絡んでいない際は運転前にスクリュウへペレットを送り込む（絡ませる）必要があります。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「FILL AUGER」を選択し  ボタンを押します。
- ③ 29Pで設定した時間でオーガが作動し、ディスプレイに「FILLING」と表示されます。
- ④ 終了すると自動で停止し、ディスプレイに「EMPTY GLATE AND PRESS ON-OFF」と表示されます。
※ペレットの送り込みを中断する場合は  ボタンを押します。
- ⑤ 炉内の掃除を行ない、 ボタンを押すと元の画面に戻ります。

【NATURAL MODE】ナチュラルモードの設定

ナチュラルモードは、輻射熱運転を行なう機能です。送風ファンを停止したまま出力P1でストーブを運転し、輻射熱で室内の最低温度を維持します。送風ファンの稼働を停止するため、就寝時などもファンの音が気にならず、部屋の冷え込みを防ぐことができます。

◆オート（自動）ナチュラルモードの設定

ストーブがナチュラルモードで自動運転する時間を設定します。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「AUTO NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。
- ④ ディスプレイに「00:00 START NATURAL MODE」と表示されたら、   ボタンでナチュラルモードを開始する時間を設定し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイに「00:00 STOP NATURAL MODE」と表示されたら、   ボタンでナチュラルモードを終了する時間を設定し  ボタンを押します。

※ナチュラルモード中にストーブが停止している場合は、ディスプレイには「OFF N」が表示されます。

※タイマー機能とオートナチュラルモードの時間設定に相違がある場合、タイマー機能の時間設定が優先されます。

※オートナチュラルモードのSTART/STOPの時間を両方とも「OFF」にすると、ナチュラルモードは作動しません。

◆マニュアル（手動）ナチュラルモードの設定

ナチュラルモードを手動で開始・終了することができます。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「MAN NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。
- ④ ナチュラルモードを開始させる場合は    ボタンで「ON START NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ナチュラルモードを終了させる場合は    ボタンで「OFF START NATURAL MODE」を選択し  ボタンを押します。

※ナチュラルモードが有効になっている状態でストーブをシャットダウンすると、ディスプレイには「OFF N」が表示されます。

◆常時ナチュラルモードで運転する場合

常に送風ファンを停止したまま輻射熱運転を行なう場合は、時間設定を「00:00」にします。

※タイマー機能と併用する場合、タイマー機能で設定した時間でストーブが輻射熱運転を行ないます。

※ナチュラルモードが有効になっている状態でストーブをシャットダウンすると、ディスプレイには「OFF N」が表示されます。

◆ナチュラルモードを使用しない場合

送風ファンが稼働した状態でストーブを運転する場合は、オートナチュラルモードのSTART/STOPの時間時間を「OFF」にします。

※ナチュラルモードとエネルギーセービングは併用することができません。ナチュラルモードが有効になっているとエネルギーセービングを設定することができず、エネルギーセービングが有効になっているとナチュラルモードは設定することができません。

※ナチュラルモード使用中に排煙温度が155℃以上になると、本体の熱を逃がすため送風ファンが10分間最大速度で作動します。10分間経過するか排煙温度が155℃以下になると、送風ファンが停止し再びナチュラルモードを開始します。出力P2以上で運転中、途中でナチュラルモードを作動させると、排煙温度が高いため同様の症状が起こります。

【STOVE STATUS】ストーブの状態確認

現在のストーブの状態を確認することができます。

「00℃ SMOKE TEMP」		排煙温度
「00.0 FEED DATE」		ペレットの使用量
「00℃ ROOM TEMP」		室温
「000 PRM SMOKE」		排煙ファンの回転数

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「STOVE STATUS」を選択し  ボタンを押します。
- ③ 上記の項目が自動で数秒おきに切り替わり、順に表示されます。
- ④  ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

エラーメッセージ一覧

PIAZZETTAのストーブは、人・動物・モノ・ストーブ本体への損傷を未然に防ぐため、様々な安全装置を備え、E（エラー）表示で知らせるようになっています。

E1	SAFETY SMOKE		排煙室の負圧異常
E2	NO DEPR		プレッシャー（負圧）スイッチの異常
E3	THERMAL SAFETY		ペレットタンクの異常高温
E4	MASS TEMP		排煙温度の異常高温
E6	AUIGER SAFETY		オーガの異常
E7	UNPROGRAMMED STOP		排煙温度の異常低温（68℃以下）
E8	SMOKE PEMPATURE PROBE	...	排煙温度センサーの接続不良
E9	NO LIT		着火不良
E10	ROOM TEMPATURE PROBE	...	室温感知センサーの接続不良
E12	ENCODER		電子回路の不備・不具合
E13	LID OPEN		ペレットタンクのフタが開いている
E14	START FAILURE		スタートフェーズ後35分以内に排煙温度が68℃に達していない

クイック機能／クイックスタート（着火フェーズの簡略化）

この機能は、代理店による点検・確認作業などの現場作業の迅速化を目的としている機能です。本来機能しなければならない安全感知機能を省略する行為のため、通常使用の状況下では安全性軽視となるため使用しないで下さい。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

着火フェーズ／フェーズⅡを簡略化し、通常燃焼へ移行することができる機能です。

- ① ディスプレイに「START FHASE II」が表示されている状態で、  ボタンを20秒長押しします。
- ② 排煙温度が13Pで設定した温度（排煙ファンが停止する温度）より高温になっている場合、フェーズⅡが省略され、通常燃焼に移行します。

クイック機能／テクニカルバイパス（シャットダウンの簡略化）

この機能は、代理店による点検・確認作業などの現場作業の迅速化を目的としている機能です。本来機能しなければならない安全感知機能を省略する行為のため、通常使用の状況下では安全性軽視となるため使用しないで下さい。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

エラー等でストーブが停止し再スタートする際に、シャットダウンフェーズ～着火フェーズを簡略化し、短時間で通常運転に移行することができる機能です。

- ①   ボタンを10秒間長押しします。
- ② ディスプレイに「TECHNICAL BY-PASS」が表示されたら、5秒以内に  ボタンを押します。
- ③ 排煙ファンが停止し、ディスプレイに「OFF」が表示され再スタートが可能となります。
※失敗した場合は元の表示に戻り、テクニカルバイパスは機能しません。
- ④ 再スタートすると、着火フェーズ中は「CONTROL」が表示され、プレッシャー（負圧）スイッチは一時的にセンサーが無効状態となります。

◆テクニカルバイパスを使用できるディスプレイの表示

- START PHASE I
- START PHASE II
- COOLING
- EMPTY BRAZIER
- WAIT COOLING

【INSTALLER】パラメーター設定一覧① ※メニュー画面一覧①の場合

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

この機能を使用するには以下の手順に従い操作してください。

◆現状の確認

パラメーターを変更する前に、排煙ファンや室温など確認しておく、パラメーターを調整する判断材料にもなります。

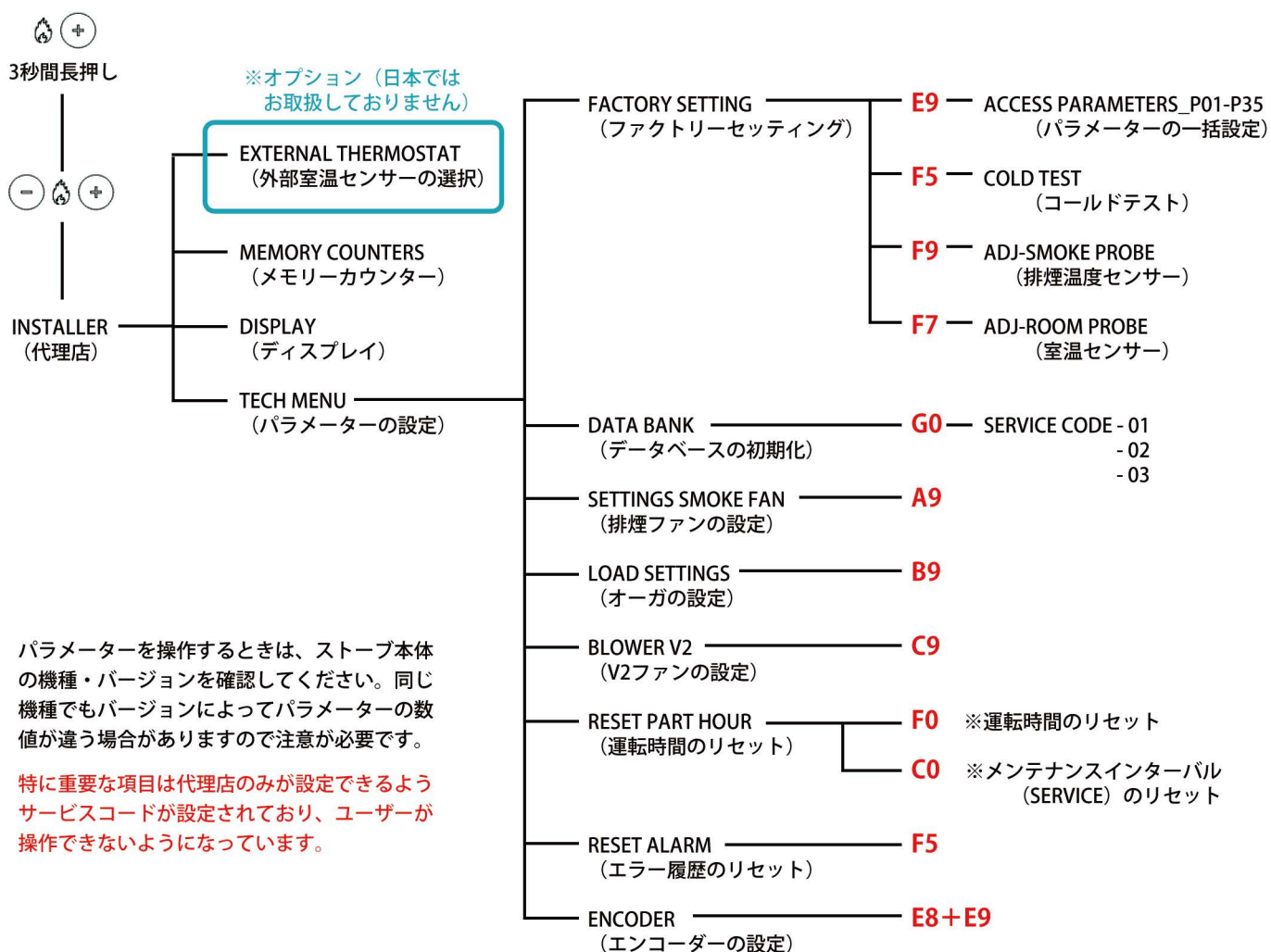
  (3秒長押し) < 「STOVE STATUS」

※確認できる内容：排煙温度・ペレットのローディング時間・室温・排煙ファンの回転数

  (3秒長押し) < 「INSTALLER」 < 「MEMORY COUNTERS」

※確認できる内容：総合稼働時間・前回リセット以降の稼働時間・運転回数・直近5回分のエラー履歴

◆各パラメーターメニューへのアクセス



パラメーターを操作するときは、ストーブ本体の機種・バージョンを確認してください。同じ機種でもバージョンによってパラメーターの数値が違う場合がありますので注意が必要です。

特に重要な項目は代理店のみが設定できるようサービスコードが設定されており、ユーザーが操作できないようになっています。

※アクセスキーは最初00が表示され、  ボタンを長押しすると00～99、A1～9、B1～9・・・と続きます。行き過ぎたら   ボタンで戻ることができます。

※サービスコードの選択を間違えると、「CODE ERROR」が表示され、元の画面に戻ります。

【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】パラメーターのロック機能

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。
※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ユーザーが誤って変更することのないよう、特に重要なパラメーター値はPIAZZETTA社で製造時の初期設定が変更できないようにロックされた状態で出荷しています。パラメーター設定では、このロックを解除することができます。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「FACTORY SETTINGS」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「E8」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイに「CODE ERROR」と表示され、元の画面に戻ります。
- ⑥ 1分以内に、②～④を繰り返した後、再度「FACTORY SETTINGS」に入りサービスコード「E9」を選択し  ボタンを押すと、ロックが解除されます。
※1分以内に操作が完了しないと、ロックは解除しません。

【TECH MENU<FACTORY SETTINGS】パラメーターの一括設定

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。
※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

パラメーターは、各項目からの個別アクセスとは別に、一括で全てのパラメーターを変更することができます。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「FACTORY SETTINGS」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「E9」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイにパラメーター01Pの画面が表示されます。変更しない場合はそのまま  ボタンを押し、変更する場合は    ボタンで数値を変更して  ボタンを押すと、02P（次のパラメーター）の画面が表示されます。

※設定画面は、SETボタンを押すたびにP01～P35・58P・59P・72Pまで順番に画面が表示されます。パラメーター表を参考に数値を設定して下さい。

※58P・59P・72Pはロックを解除しないと変更できません。

PIAZZETTA		※代理店のみ使用可能		パラメーター表	
P158		【コードバンク】 06		【ファームウェア】 Ver. 15.2	
パラメーター	単位	最低	初期設定	最大	内 容
*01P	分	5	12	35	着火フェーズⅠ（着火）の時間
*02P	分	2	5	12	着火フェーズⅡ（後の着火）の時間
03P	分	30	60	240	グレーの自動クリーニングの回数
04P	秒	0.4	5.1	12.0	着火フェーズⅠのバレットを送り込む時間 ※1
05P	秒	0.4	5.2	12.0	着火フェーズⅡのバレットを送り込む時間 ※1
06P	秒	0.4	3.4	12.0	出力P1のバレットを送り込む時間 ※1
07P	秒	0.4	4.6	12.0	出力P2のバレットを送り込む時間 ※1
08P	秒	0.4	5.9	12.0	出力P3のバレットを送り込む時間 ※1
09P	秒	0.4	7.6	12.0	出力P4のバレットを送り込む時間 ※1
10P	秒	0.4	7.6	12.0	出力P5のバレットを送り込む時間 ※1 設定を変更しないでください
*11P	秒	20	50	90	エラー発生から警告音が鳴りはじめるまでの待機時間
*12P	秒	10	20	90	「CLEANING BRAZIER」が表示された際のグレーの自動クリーニングにかかる時間
*13P	℃	40	47	120	排煙ファンが停止する温度（13Pと同時に15Pの設定値に一致しない限り停止しません）
*14P	℃	110	165	250	出力の自動制御が働く排煙温度
15P	℃	50	85	110	送風ファンが動作・停止する際の露点基準となる排煙温度 ※2
16P	rpm	250	2100	2700	着火フェーズⅠの排煙ファンの回転数（スピード）
17P	rpm	250	2000	2700	着火フェーズⅡの排煙ファンの回転数（スピード）
18P	rpm	250	1750	2700	出力P1の排煙ファンの回転数（スピード）
19P	rpm	250	1950	2700	出力P2の排煙ファンの回転数（スピード）
20P	rpm	250	2100	2700	出力P3の排煙ファンの回転数（スピード）
21P	rpm	250	2200	2700	出力P4の排煙ファンの回転数（スピード）
22P	rpm	250	2200	2700	出力P5の排煙ファンの回転数（スピード） 設定を変更しないでください
23P	Val.	2	20	38	出力P1の送風ファンの回転数（スピード）
24P	Val.	2	24	38	出力P2の送風ファンの回転数（スピード）
25P	Val.	2	30	38	出力P3の送風ファンの回転数（スピード）
26P	Val.	2	38	38	出力P4の送風ファンの回転数（スピード）
27P	Val.	2	38	38	出力P5の送風ファンの回転数（スピード）
28P	Val.	150	180	270	事故防止のためストローが自動停止する際の排煙温度
29P	秒	100	252	255	「FILL AUGER」の間にオーガにバレットを詰まらせるための時間 ※3
30P	分	5	30	60	「SHORT ON PELLET」バレット残量が少ないが表示された後の最大移動時間
31P	℃	120	210	250	「MAX VENT」が表示された際の自動制御が働く排煙温度
32P	秒	0	85	255	着火フェーズの間にオーガにバレットを詰まらせるための時間
33P	秒	0	130	255	着火フェーズの間に「WAITING」が表示される時間
34P	rpm	250	1700	2700	オーガにバレットを詰まらせている（32P）際の排煙ファンの回転数（スピード）
35P	分	5	35	50	排煙温度が75℃以上になることを検知するまでの判定待機時間 ※4

【パラメーターに*の付いている項目は設定を変更できません。】
※1 オーガは12秒をクールタイムとして運転しないため、12秒の間オーガを回転させるが設定することでバレットの裏を掃除します。
※2 設定した基準温度から送風ファンは-3℃、排煙ファンは-6℃が実際の停止温度となります。
※3 ストローが停止状態で13Pの設定温度より排煙温度が低い場合に作動します。
※4 スタートフェーズから過熱状態に移行した直後、35Pで設定した時間内に排煙温度が75℃以上にならないと着火不良でエラーとなります。

【TECH MENU<FACTORY SETTING】コールドテスト

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

電子部品（着火プラグ、オーガ、排煙ファン、送風ファン）は設置前や火入れ前に、ペレットの補充をしない状態でも適切に稼働するか動作テストをすることができます。これらは、同時にテストしたり個々でテストすることが可能です。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「FACTORY SETTING」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「F5」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「TEST」と表示されます。
- ⑤   ボタンを押すと、ディスプレイに「F TEST」と表示され、排煙ファンが作動します。
- ⑥   ボタンを押すと、ディスプレイに「CF TEST」と表示され、オーガモーターが作動します。
※排煙ファンは止まりません。
- ⑦   ボタンを押すと、ディスプレイに「A TEST」と表示され、着火ヒーターが作動します。
※排煙ファンとオーガモーターは動作テストを終了し停止します。
- ⑧   ボタンを押すと、ディスプレイに「V TEST」と表示され、送風ファンが作動します。
※着火ヒーターは動作テストを終了し停止します。
- ⑨   ボタンを押すと、ディスプレイに「AV CF TEST」と表示され、排煙ファン・オーガモーター・着火ヒーター・送風ファンが同時に作動します。
- ⑩   ボタンを押すと、ディスプレイに「TEST」と表示され、排煙ファン・オーガモーター・着火ヒーター・送風ファンが全て停止します。
- ⑪  ボタンを押すと、コールドテストが終了します。

【TECH MENU<FACTORY SETTING】排煙温度センサーの調整

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

排煙温度センサーが検知する温度と実際の温度に差異がないよう、調整することができます。

- ① 温度計を準備し、排煙温度センサー付近の温度を予め計測します。
- ②   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ③    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンで「FACTORY SETTING」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤    ボタンでサービスコード「F9」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「ADJUST SMOKE PROBE 0.0°」と表示され、現在排煙温度センサーが計測している温度が表示されます。
- ⑥ ディスプレイに表示されている温度と⑤で計測した温度計の数値に差異がある場合は、   ボタンで変更し  ボタンを押すと設定が完了して前の画面に戻ります。
※変更は1℃単位で可能です。±15℃の範囲で設定できます。

【TECH MENU<FACTORY SETTING】室温センサーの調整

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。
※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ストーブ本体の室温センサーが検知する温度と実際の室温に差異がないよう、調整することができます。

- ① 温度計を準備し、室温を予め計測します。
- ②   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ③    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンで「FACTORY SETTING」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤    ボタンでサービスコード「F7」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「ADJ RM TEMP PROBE 0.0°」と表示され、現在排煙温度センサーが計測している温度が表示されます。
- ⑥ ディスプレイに表示されている温度と①で計測した温度計の数値に差異がある場合は、   ボタンで変更し  ボタンを押すと設定が完了して前の画面に戻ります。
※変更は0.5℃単位で可能です。±4.5℃の範囲で設定できます。

【TECH MENU<DATA BANK】データベースの初期化

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。
※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

基板を交換する場合、個別に設定した情報は引き継がれません。個別に設定したパラメーターの数値は、「FACTORY SETTING」のパラメーター括変更画面「E9」で確認できます。全ての設定を初期化（リセット）する場合は、以下の手順で設定を行なって下さい。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「DATA BANK」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「G0」を選択し  ボタンを押すと、ディスプレイに「Nr. SERVICE CODE 01」と表示されます。
- ⑤    ボタンで「Nr. SERVICE CODE 06」を選択し  ボタンを押します。
- ⑥   ボタンまたは   ボタンを5秒間長押しすると、ディスプレイに「DATA LOADED」と表示され、初期化が完了されます。
※データバンクコード（サービスコード）は機種ごとに決められているため、誤ったコードを使用しないよう注意して下さい。

【TECH MENU<RESET PART HOUR】運転時間のリセット

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。
※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

前回リセットして以降の積算運転時間をリセットします。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「RESET PART HOUR」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「F0」を選択し  ボタンを押すと、リセットが完了し元の画面に戻ります。

【TECH MENU<RESET PART HOUR】メンテナンスインターバル (SERVICE) のリセット

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ストーブは、2000時間使用する度に、ディスプレイに「SEAVICE」が表示されます。ストーブの定期メンテナンス時期を知らせる表示ですので、忘れずにメンテナンスを行ないましょう。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「RESET ALARM」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「F5」を選択し  ボタンを押すと、リセットが完了し元の画面に戻ります。

【TECH MENU<RESET ALARM】エラー履歴のリセット

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

エラーの履歴をリセットします。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「RESET ALARM」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「F5」を選択し  ボタンを押すと、リセットが完了し元の画面に戻ります。

【TECH MENU<ENCODER】エンコーダーの設定

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

エンコーダーは排煙ファンの自動制御装置で、排煙ファンのスピードを計測しながらモーターを自動制御しています。無効にすると計測した排煙ファンのスピードとモーター制御は連動しなくなります。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「ENCODER」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「E8」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイに「CODE ERROR」と表示され、元の画面に戻ります。
- ⑥ 10秒以内に、①～③を繰り返し、サービスコード「E9」を選択して  ボタンを押すと、エンコーダーが無効になります。
※10秒以内に操作が完了しないと、無効になりません。

※再度エンコーダーを有効にする場合は、同様に①～⑥を行ないます。

【TECH MENU<LOAD SETTINGS】オーガの設定

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ペレットを送り込む量の設定をするには、オーガの回転時間を設定します。オーガは12秒を1サイクルとして作動するため、12秒中何秒間オーガを作動させるかでペレットを送り込む量を設定します。数値が大きくなるほどペレットの消費が多くなるため注意してください。

※ペレットを送り込む量は、04P < 05P < 06P … 09P < 10Pになるよう段階的に数値が大きくなるよう設定します。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「LOAD SETTINGS」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「B9」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイに「AUGER LIGHTS ●● 04P」と表示されたら、パラメーター表の04Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑥ ディスプレイに「AUGER START ●● 05P」と表示されたら、パラメーター表の05Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑦ ディスプレイに「AUGER POWER 1 ●● 06P」と表示されたら、パラメーター表の06Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑧ ディスプレイに「AUGER POWER 2 ●● 07P」と表示されたら、パラメーター表の07Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑨ ディスプレイに「AUGER POWER 3 ●● 08P」と表示されたら、パラメーター表の08Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑩ ディスプレイに「AUGER POWER 4 ●● 09P」と表示されたら、パラメーター表の09Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑪ ディスプレイに「AUGER POWER 5 ●● 10P」と表示されたら、パラメーター表の10Pの値を参考に、●●の部分を    ボタンで選択し、 ボタンを押します。
- ⑫ 全て設定が完了すると、「LOAD SETTINGS」の画面に戻ります。

【TECH MENU<SETTINGS SMOKE FAN】排煙ファンの簡易設定（差圧計を使用しない設定）

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

差圧計を使用せず、排煙ファンのスピードをP16～P22まで一括で簡易設定することができます。

※正確な設定を行うには、差圧計を用いた設定が必要です。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「SETTINGS SMOKE FAN」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンでサービスコード「A9」を選択し  ボタンを押します。
- ④ パラメーター表の16Pの値を参考に、   ボタンで数値を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ 17P～22Pと  ボタンを押すごとに画面が移行し、27Pまで設定すると前の画面に戻ります。
※それぞれのパラメーター値に応じた数値を選択してください。

【TECH MENU<SETTINGS SMOKE FAN】 差圧計を使用した排煙ファンの設定

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

◆差圧計の接続と注意事項

ペレットストーブは設置場所・気候・標高などの環境により適切なパラメーターの数値は変動します。正しく安定した燃焼を実現するため、排煙ファンの設定をする際は必ず差圧計を使用してください。

差圧計とは、ストーブ本体の負圧値と煙突（排煙）の抵抗値を読み取る機器で、単位はPa（パスカル）を使用します。差圧計による計測値が推奨値から外れている場合は、パラメーターを調節し設定を変更してください。

- ・ストーブ設置後、お客様へお引渡し前に差圧計を用いて動作テストすることをおすすめします。これにより負圧センサーの誤作動による「E1（排煙エラー）」を避けることができます。
- ・排煙ファンを調節する場合は必ずPa値が50～120Paの間になるよう調整してください。50Pa以下になると出力制御に支障をきたす恐れがあり、120Pa以上になると燃焼効率が低下し、最小出力で使用した際にペレットがグレート内に溢れる可能性があります。
- ・Pa値は測定時の排煙温度に影響されます。ストーブが運転していない状態で設定すると排煙ファンのみ自動的に動き出し、ストーブが冷えた状態で全てのPa値の設定を行なうため、実際にストーブを運転したときのPa値と誤差が出る可能性があります。

煙が熱いほど = 密度が低く = 煙の引きが強くなり = Pa値が高くなっていく

煙が冷えるほど = 密度が高く = 煙の引きが弱くなり = Pa値が低くなっていく

- ・排煙ファンの設定値を正確に設定するため、ストーブを運転しながらフェーズⅠ・Ⅱ・P1～P4の各状態時にパラメーター画面を開き、温度を設定することを推奨します。

差圧計の電源をONにし、チューブで差圧計をストーブ本体に（図1）に接続します。

※差圧計の電源をOFFの状態ですトーブと接続すると正しく測定できません。その場合は、チューブを一旦外して差圧計の電源をONにしてから再度チューブを接続してください。



差圧計のチューブ
接続位置
※ナットキャップを
外して接続して下
さい。

◆ストーブを運転しながら差圧計で排煙ファンを調整する／34P・16P～17Pの設定

※16Pと17Pは排煙温度により自動的にフェーズが移行していくため、一定時間内に操作する必要があります。

※この設定は、ストーブが完全に冷えた「OFF」状態から設定します。

- ① 差圧計をストーブに接続し、 ボタンを押してストーブの運転を開始します。
- ②   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ③    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンで「SETTINGS SMOKE FAN」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤    ボタンでサービスコード「A9」を選択し  ボタンを押します。
- ⑥ ストーブがフェーズⅠ／PRE-LOADING～WAITのうちに34Pの設定を行ないます。差圧計を見ながら、パラメーター表の「差圧計のPa推奨値」の範囲に納まるよう    ボタンで調整し  ボタンを押します。
- ⑦ ストーブがフェーズⅠ／PHASE 1のうちに16Pの設定を行ないます。差圧計を見ながら、パラメーター表の「差圧計のPa推奨値」の範囲に納まるよう    ボタンで調整し  ボタンを押します。
- ⑧ ストーブがフェーズⅡ／PHASE 2に移行したら17Pを設定します。差圧計を見ながら、パラメーター表の「差圧計のPa推奨値」の範囲に納まるよう    ボタンで調整し  ボタンを押します。

◆ストーブを運転しながら差圧計で排煙ファンを調整する／18P～22Pの設定

※18P～22Pは設定前にストーブを最大出力で暖め、煙突内のPa値を上げてから調整します。

- ① 差圧計をストーブに接続したら、 ボタンを押してストーブの運転を開始します。
- ② 通常運転に移行したら、ストーブを最大出力（P5）に設定し、排煙温度が100～120℃になるまで待ちます。
※排煙温度は「STOVE STATUS」で確認できます。
- ③   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ④    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤    ボタンで「SETTINGS SMOKE FAN」を選択し  ボタンを押します。
- ⑥   ボタンでサービスコード「A9」を選択し  ボタンを押します。
- ⑦ 排煙温度が上がったら、20P～22Pの設定を行ないます。差圧計を見ながら、パラメーター表の「差圧計のPa推奨値」の範囲に納まるよう    ボタンで調整し  ボタンを押します。
※20P～22Pは、推奨値内での最大スピードになるよう設定するのがおすすめです。
- ⑧ 18P～19Pは出力が弱めのため、出力変更後排煙温度がある程度安定してから設定を行ないます。差圧計を見ながら、パラメーター表の「差圧計のPa推奨値」の範囲に納まるよう    ボタンで調整し  ボタンを押します。
※18P～19Pは、推奨値内での最小スピードになるよう設定するのがおすすめです。
- ⑨ 全ての設定が完了したら、差圧計を外してナットキャップを元に戻してください。

【MEMORY COUNTERS】メモリーカウンター

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

運転状況に関する様々な内容が確認できます。

「TOTAL HOURS」	総運転時間
「PARTIAL HOURS」	前回リセット後からの運転時間
「NUMBER OF STARTS」	着火回数
「MEM-1」「MEM-2」・・・「MEM-5」	直前5回のエラー履歴

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「MEMORY COUNTERS」を選択し  ボタンを押します。
- ③ ディスプレイに「TOTAL HOURS」と表示され、   ボタンを押すと上記の項目が順番に表示されます。
- ④ 確認を終えたら、 ボタンを押すと元の画面に戻ります。

【DISPLAY】ディスプレイの設定

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ディスプレイの設定ができます。

省エネ設定 …… 1分以上キーパッドが操作されないと、ディスプレイを消灯して電力の消費を抑えます。省エネ中は小さなライトが点灯し、ストーブが運転中であることを知らせます。

メイン表示設定 … ディスプレイのメイン表示に温度・時間のどちらを表示するか選択することができます。

- ③   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「DISPLAY」を選択し  ボタンを押します。
- ③ ディスプレイに「OFF DISPLAY ECO」と表示されたら、   ボタンで省エネを実行する場合は「ON DISPLAY ECO」、実行しない場合は「OFF DISPLAY ECO」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンで温度を表示する場合は「TEMP MODE DISPLAY」を選択し、時間を表示する場合は「HOURS MODE DISPLAY」を選択し、 ボタンを押します。
- ⑤ 設定が完了すると、元の画面に戻ります。

電圧・周波数の変換

パラメーター設定は、専門知識を有した代理店のみ使用することができます。

※ユーザーが操作することのないよう、十分ご注意ください。

ストーブは、 ボタンを押して着火フェーズに入る際、自動的に電圧と周波数を読み取ります。下記のいずれかの項目でエラーになると、エラー項目が5秒ごとにディスプレイに表示されます。表示が出た際は設定を行なってください。

- 「50HZ KO」…… 周波数エラー。機器が50Hz設定のまま60Hzの地域で使用しているため、パラメーターの再設定が必要。
- 「60HZ KO」…… 周波数エラー。機器が60Hz設定のまま50Hzの地域で使用しているため、パラメーターの再設定が必要。
- 「115V KO」…… 電圧エラー。機器が115V設定のまま、230Vの地域で使用しているため、変圧器を使用する。
- 「230V KO」…… 電圧エラー。機器が230V設定のまま、115V（100V）の地域で使用しているため、変圧器を使用する。

※機器の初期設定は、50Hz／230Vになっています。

※日本の周波数は、東日本は50Hz・西日本は60Hzです。一部混在地域がありますので、機器の設置前に必ず確認してください。

※230V→100Vの変圧器を用いると、電圧はエラーになりません。変圧器の容量が小さいと機器の誤作動の原因となりますので、容量は1000W以上のものをご使用ください。

◆周波数の変換

周波数のパラメーターはロックがかかっているため、ロックを解除しないと設定を変更できません。ディスプレイに「50HZ KO」と表示されたら、以下の手順でロックを解除し周波数の設定を行なってください。

- ①   ボタンを3秒間長押しし、メインメニューに入ります。
- ②    ボタンで「INSTALLER」を選択し  ボタンを押します。
- ③    ボタンで「TECH MENU」を選択し  ボタンを押します。
- ④    ボタンで「FACTORY SETTING」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤    ボタンでサービスコード「E8」を選択し  ボタンを押します。
- ⑤ ディスプレイに「CODE ERROR」と表示されます。
- ⑥ ディスプレイが自動的に「FACTORY SETTINGS」の画面に戻ったら、 ボタンを押します。
   ボタンでサービスコード「E8」を選択し  ボタンを押します。
※⑤の「CODE ERROR」の表示から1分以内に操作を完了しないとロックが解除されません。
- ⑦ ディスプレイに「CODE ERROR」と表示されます。
※1分以内に⑥が完了しているとロックが解除されますが、特に解除の旨の表示は出ません。
- ⑧ ディスプレイが自動的に「FACTORY SETTINGS」の画面に戻ったら、 ボタンを押します。
   ボタンでサービスコード「E9」を選択し  ボタンを押します。
- ⑨  ボタンで「72P-POWER FREQUENCY」を選択し    ボタンで50Hzを60Hzに切り替え、 ボタンを押します。
※  ボタンを押さないと変更が反映されません。
- ⑩ ディスプレイが01Pの表記に戻ったら、 ボタンを押すと設定が終了し元の画面に戻ります。

※ロックの解除が有効なのは短時間のみです。⑧のサービスコードを誤入力すると再度ロックされますので、その場合は最初からやり直しとなります。

※周波数が正しく設定されると、初期画面でディスプレイに「50HZ KO」が表示されなくなります。

P158

【コードバンク】 26
【ファームウェア】 Ver. 18.0

パラメーター	単位	最低	初期設定	最大	差圧計のPa推奨値	内 容
*01P	分	5	12	35		着火フェーズⅠ（着火）の時間
*02P	分	2	4	12		着火フェーズⅡ（炎の安定化）の時間
03P	分	30	30	180		グレートの自動クリーニングの間隔
04P	秒	2.0	2.8	4.5		着火フェーズⅠのペレットを送り込む時間 ※1
05P	秒	2.0	3.2	5		着火フェーズⅡのペレットを送り込む時間 ※1
06P	秒	2.0	3.1	5		出力P1のペレットを送り込む時間 ※1
07P	秒	2.5	4.6	6		出力P2のペレットを送り込む時間 ※1
08P	秒	3.0	6.1	8		出力P3のペレットを送り込む時間 ※1
09P	秒	3.5	7.7	10		出力P4のペレットを送り込む時間 ※1
10P	秒	4.0	7.7	11.8		出力P5のペレットを送り込む時間 ※1 ※ロックがかかっています
*11P	秒	20	50	90		エラー発生から警告音が鳴りはじめるまでの待機時間
*12P	秒	10	25	90		「CLEANING BRAZIER」が表示された際のグレート自動クリーニングにかかる時間
*13P	℃	40	47	120		排煙ファンが停止する温度（13Pと同時に15Pの設定値-3℃にならないと停止しません）
*14P	℃	120	170	250		出力の自動制御が働く排煙温度
15P	℃	50	85	110		送風ファンが作動・停止する際の算出基準になる排煙温度 ※2
16P	rpm	1500	1850	2400	110~115	着火フェーズⅠの排煙ファンの回転数（スピード）
17P	rpm	1600	2300	2600	95~100	着火フェーズⅡの排煙ファンの回転数（スピード）
18P	rpm	1000	1470	2500	65~70	出力P1の排煙ファンの回転数（スピード）
19P	rpm	1200	1750	2600	70~75	出力P2の排煙ファンの回転数（スピード）
20P	rpm	1600	1950	2700	75~80	出力P3の排煙ファンの回転数（スピード）
21P	rpm	1800	2200	2800	85~90	出力P4の排煙ファンの回転数（スピード）
22P	rpm	2000	2200	2800		出力P5の排煙ファンの回転数（スピード） ※ロックがかかっています
23P	Val.	10	23	38		出力P1の送風ファンの回転数（スピード）
24P	Val.	15	26	38		出力P2の送風ファンの回転数（スピード）
25P	Val.	20	32	38		出力P3の送風ファンの回転数（スピード）
26P	Val.	25	38	38		出力P4の送風ファンの回転数（スピード）
27P	Val.	30	38	38		出力P5の送風ファンの回転数（スピード）
28P	Val.	150	180	270		事故防止のためストーブが自動停止する限界温度
29P	秒	20	360	996		「FILL AUGER」の際にオーガにペレットを絡ませるための時間 ※3
30P	分	15	30	60		「SHORT ON PELLET」（ペレット残量が少ない）が表示された後の最大稼働時間
31P	℃	60	155	250		「MAX VENT」が表示され出力の自動制御が働く排煙温度
32P	秒	30	105	200		着火フェーズの際にオーガにペレットを絡ませるための時間
33P	秒	30	140	255		着火フェーズの際に「WAITING」が表示される時間
34P	rpm	1200	1600	2500	80~85	オーガにペレットを絡ませている（32P）間の排煙ファンの回転数（スピード）
35P	分	25	40	50		排煙温度が75℃以上になることを検知するまでの判定待機時間 ※4
58P	rpm	2500	2700	2700		最速で作動する際の排煙ファンスピード
59P	rpm	2500	2450	2600		最速で作動する際の排煙ファンスピード
72P	Hz	50	50	60		周波数（60Hz地域は設定を変更する必要があります） ※5 ※ロックがかかっています

【パラメーターに*の付いている項目は設定を変更できません。】

- ※1 オーガは12秒を1クールとして回転しているため、12秒中何秒オーガを回転させるか設定することでペレットの量を調節します。
- ※2 設定した基準温度から送風ファンは-3℃・排煙ファンは-6℃が実際の停止温度となります。
- ※3 ストーブが停止状態で13Pの設定温度より排煙温度が低い場合に作動します。
- ※4 スタートフェーズから通常燃焼に移行した直後、35Pで設定した時間内に排煙温度が75℃以上にならないと着火不良でエラーとなります。
- ※5 60Hz地域で機器を使用する場合は、周波数の設定を変更する必要があります。



PIAZZETTA日本総輸入元

GREENHOOD（グリーンフード）

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-3-3 1F
TEL 03-6261-3884 / FAX 03-6261-3885

WOODHOOD（ウッドフード）

〒031-0031 青森県八戸市大字番町1-1
TEL 0178-43-3061 / FAX 0178-43-3037